

関節ファシリテーション学会 四国支部
-四国交流会-

第 10 回四国交流会

日 時：平成 24 年 9 月 1 日（土）～2 日（日）

内 容：「基本的動作介助法 part II」

講 師：築山 尚司先生（SJF 学会地方理事）

岡山大学病院 総合リハビリテーション部 土長

会 場：阿南医師会中央病院（4 階）リハビリテーションセンター

徳島にて 7 月に行われました、第 10 回四国交流会の報告を致します。

四国のみならず、岡山を始め遠方からも 52 名という多くの先生の参加申し込みを頂きまして、盛況な講習会が開催できました。

基本的動作介助法では、立ち上がり動作や歩行動作に関して、実際に症例を挙げて分かり易く説明を頂きました。ただ、実際に介助法の練習をしてみると非常に難しく、私を始め、参加者の先生方は必死でした。（歩行介助の実技の中でも、とんでもなく高度な技術の介助法もありました。）今後も研鑽を続けたいと感じました。



築山先生、補助講師をして頂きました寺田先生、太田先生、高尾先生、中山先生ありがとうございました。今後どうぞよろしくお願いいたします。

第 11 回四国交流会

日 時：平成 24 年 11 月 18 日（日）

内 容：「基本的動作介助法 partⅢ」「SJF 技術」

講 師：築山 尚司先生

岡山大学病院 総合リハビリテーション部 土長

会 場：土佐リハビリテーションカレッジ

平成 23 年 10 月より始まった「基本的動作介助法」も今回で 3 回目となりこの度高知地区で開催いたしました。四国 4 県だけでなく、岡山をはじめ、遠方からもご参加いただき、総勢 51 名で、盛況うちに研修会を終えることができました。

今回も、前回・前々回の勢いそのままに、寝返り動作から歩行介助に至るまで、基本的動作における介助法だけでなく、SJF 技術までご教授頂きました。1 日と短い研修会でしたが、最後に築山先生がお話をされた「帰って誰かに説明できるくらいに復習すること」が次へのステップアップに繋がると思います。



築山先生はじめ寺田先生、三宅先生、高尾先生、中山先生ありがとうございました！

第 12 回四国交流会

日 時：平成 25 年 3 月 17 日（日）

内 容：「基本的動作介助法 partⅣ」「SJF 技術」

講 師：築山 尚司先生

岡山大学病院 総合リハビリテーション部 士長

会 場：愛媛十全医療学院

今回で 4 回目を迎えました「基本的動作介助法」が愛媛県で開催されました。四国 4 県のみならず、岡山をはじめ遠方からたくさんの方にご参加いただき、今回も、大変盛況な講習会を開催することができました。

基本的動作介助法は Part I～Ⅲと回を重ね、今回の PartⅣでは基本をおさらいしながら、症例を交えた新たな介助法も取り入れてご指導いただきました。

また、SJF の技術以外にも、臨床で活かせる技術を加えてご教授いただき、1 日が短く感じるほど、収支盛りだくさんな内容の講習会でした。

実技の難しさを改めて感じ、今回学んだ技術も復習を重ね、さらなる Step up を目指していかなければならないと感じました。



築山先生をはじめ、補助講師をして頂きました先生方、本当にありがとうございました。

第 13 回四国交流会

日 時：平成 25 年 7 月 21 日(日)

内 容：「基本的動作介助法 part V」

講 師：築山 尚司先生 (SJF 学会地方理事)

岡山大学病院 総合リハビリテーション部 士長

会 場：香川労災病院

今回で基本的動作介助法も part V となり、四国各県一巡し、再び香川での開催となりました。四国のみならず、遠方からも多くの先生方の参加申し込みを頂き、盛況な研修会となりました。

基本的動作介助法は、これまでの Part I から IV までの内容を踏まえつつ、各地区の質問に対して、ご指導していただきました。実技もさらに高度な内容となり、ついて行くのが大変でした。また、SJF 技術も大変丁寧にご教授いただき、大変勉強になったのと同時に更なる知識、技術の研鑽の必要性を感じました。



築山先生をはじめ、補助講師をして頂きました先生方、本当にありがとうございました。今後どうぞよろしくお願いいたします。

第 14 回四国交流会

日 時：平成 25 年 10 月 19 日(土)、20 日(日)

内 容：「呼吸障害に対する治療技術」

講 師：姫野 吉徳先生(SJF 学会副理事長)

大阪赤十字病院 理学療法士

会 場：阿南医師会中央病院

四国交流会としては初めて 2 日ばかりでの開催となった今回は、SJF 学会副理事長の姫野吉徳先生をお招きし、「呼吸障害に対する治療技術」をテーマにご講義頂きました。「呼吸と聞くと苦手意識のある先生方も多かったようですが、基礎から分かりやすく説明していただき、治療技術の重要性を再確認することが出来たと思います。同時に、日々の臨床でひとつひとつの技術に意識を集中し、自己の感覚やスキルを磨く 必要性をますます痛感した研修会になったのではないかと考えております。

簡易ベッドを急遽買い足したほど、多くの先生方にご参加いただき、非常に盛況な研修会でした。運営上行き届かない点が多々あり、姫野先生や参加された先生方にご迷惑をおかけいたしましたこと、この場を借りてお詫び申し上げます。今後より良い研修会を開催するために、徳島地区一同努力して参りたいと思っております。



姫野先生ありがとうございました。また次回もよろしくお願い致します。

第 15 回四国交流会

日 時：平成 25 年 12 月 1 日(日)

内 容：「基本的動作介助法 PartVI、SJF 技術」

講 師：築山 尚司先生（岡山大学医学部附属病院 総合リハビリテーション部士長、SJF 学会地方理事）

会 場：阿南医師会中央病院

師走初めの寒空の中、今年最後の四国交流会が徳島にて行われました。築山先生の繰り広げる流れるようなデモンストレーションに魅せられ、少しでも多くのことを吸収したいという参加された先生方の気持ちが会場を熱気で包んでいました。運動学など基礎医学の知識と、患者の状態を考慮した上で技術を体現することが重要であると感じましたが、そこが難しくもあり、同時に治療者としての醍醐味でもあるのだなと認識することができました。岡山県他、四国以外からも多数ご参加いただき、非常に盛況な研修会となりました。



築山先生はじめ、補助講師の先生方ありがとうございました。また次回もよろしくお願い致します。

第 16 回四国交流会

日 時：平成 26 年 4 月 20 日(日)

内 容：「基本的動作介助法 PartⅦ, SJF 技術」

講 師：築山 尚司先生(岡山大学医学部附属病院 総合リハビリテーション部士長, SJF 学会地方理事)

会 場：土佐リハビリテーションカレッジ

新年度となり今年度最初の四国交流会が高知にて行われました。今回は OT の先生方にとっても、より一層日頃の臨床に実践できる内容も盛り込まれ、多くのご感想を頂きました。また、治療者として、改めて関節治療の重要性や専門的視点に立った動作介助を心掛け、治療に励んでいくべきであることを再認識させられました。狭い会場となり、心苦しい中であつたかと思いますが、春の陽気に負けないくらいの 56 名の参加者の熱気に包まれ、盛況な研修会となりました。



築山先生はじめ、補助講師の先生方ありがとうございました。また次回もよろしくお願い致します。

第 17 回四国交流会

日 時：平成 26 年 6 月 29 日(日)

内 容：「SJF 技術」

講 師：築山 尚司先生(岡山大学医学部附属病院 総合リハビリテーション部士長)

会 場：愛媛十全医療学院

第 17 回四国交流会が愛媛県で開催されました。四国 4 県はもちろん遠くは東京、宮崎から 76 名の先生方にご参加いただき、今回も大変盛況な交流会を開催することができました。

SJF 実技というテーマに合わせて、実技の時間を長くとっていただき、SJF 技術を中心に動作介助法もご指導いただき、非常に有意義な 1 日となりました。受講生が多い中、築山先生をはじめ補助講師の先生方から丁寧に指導していただき、治療効果を実感し改めて技術の研鑽が必要だと感じました。



築山先生はじめ、補助講師の先生方、本当にありがとうございました。今後どうぞよろしくお願い致します。

第 18 回四国交流会

日 時：平成 26 年 10 月 5 日(日)

内 容：「SJF 技術」「基本的動作介助法」

講 師：築山 尚司先生(岡山大学医学部附属病院 総合リハビリテーション部士長)

会 場：香川労災病院 中央リハビリテーション部

台風 18 号が近づき雨の心配をしていたなか、第 18 回四国交流会が香川県で開催されました。四国 4 県はもちろん広島・兵庫からの先生方にご参加いただき、会場いっぱいベッドを並べ大変盛況な交流会を開催することができました。

S J F 技術では、受講生が多いなか築山先生がすべてのベッドを回り、技術での力加減を教えていただいて、軽い力で動かすことを体感することができました。基本的動作介助法では、会を重ねるにつけレベルアップしており、「患者の数だけ色々な方法がある。」と先生がおっしゃる通りだと思いました。今後も研鑽していきたいと思えます。

ちなみに心配していた台風は直撃することなく、会が終了するまで雨も降りませんでした。



築山先生はじめ、補助講師の先生方、本当にありがとうございました。今後どうぞよろしくお願い致します。